

➤ 第14回科学体験フェスティバル in 大洲に参加

10月23日(土)、国立大洲青少年交流の家で「第14回科学体験フェスティバル in 大洲」が開催され、本校の電子制御工学科も参加しました。

今回が初めての出展となった「子どもが乗れるライントレーサー」は、カートの軌道を電線にして、電線に流れる電流を検出しながら電線に沿ってゆっくり動くというもので、子どもたちの人気を集めていました。今回は昨年以上に多くの子どもたちとその保護者が出展ブースを訪れ、興味深そうにロボットに触れていました。

そのほかの主な出展ロボット

- 玉入れロボット「デルデル君」
- ミニ2足歩行ロボット「ロボビー i」
- 鬼ごっこロボット「おコンさん」



↑ デルデル君

子どもが乗れるライントレーサー →



➤ ものづくりコンテスト in 新居浜高専2010開催

10月25日(月)、ものづくりコンテスト in 新居浜高専2010を開催しました。第5回目となる今回のテーマは「噴水」で、ペットボトル(サイズ、形は自由)を用いて噴水を製作し、その演出、造形美を競いました。

コンテスト当日はあいにくの雨となりましたが、きれいな曲線を描きながら散水する作品やペットボトルを回転させながら散水する作品、物理の原理を取り入れた作品などが出展され、学生は雨に負けず製作した噴水のプレゼンテーションを行い、実際に散水しました。

コンテストに出展した作品は、国領祭にて展示され、来場者の方々(234名)にも採点していただきました。



一斉散水

《結果(コンテスト及び国領祭での採点の総合)》(上段: 作品名 下段: 製作者)

最優秀賞	グルグル噴水
	生産工学専攻1年 武田顕一、生産工学専攻2年 明比尚幸
優秀賞	白鳥のお池
	機械工学科5年 藤田雅文
デザイン賞	たまって流して、まきちらす
	電気情報工学科4年 大坪徹也

➤ 2年生対象・租税講演

10月29日(金)、2年生を対象に租税講演を行いました。講師に松山税務局・税務官の方をお迎えし、映像を見ながら税金の仕組みや種類、その用途などについて勉強しました。

➤ 愛テクフォーラム学生会員を「メッセナゴヤ2010」へ派遣

愛テクフォーラムでは、学生会員の「科学・技術フェスタ in 京都」(6月)への派遣、「愛テクフォーラム総会」(8月)への参加(お披露目と科学・技術フェスタ報告)に引き続き、10月30日(土)に第3弾の活動として「環境・エネルギーの展示会/メッセナゴヤ2010」に学生会員6名を派遣しました。

「メッセナゴヤ2010」は「愛・地球博」の理念を継承し幅広い分野・地域から出展がある「国際総合展示会」です。会場に到着した学生会員は、早速事前に決めていた出展ブースを訪ね情報収集に熱中していました。得られた情報は、報告会にて『愛テクフォーラム』法人会員企業のみなさまへご紹介するとともに、冊子化した報告書をお届けする予定です。

➤ 高校化学グランドコンテストで大阪市長賞を受賞

10月31日（日）、大阪府立大学で行われた第7回高校化学グランドコンテストの最終選考会が行われました。このコンテストは、大阪市立大学・大阪府立大学・読売新聞大阪本社が開催するもので、高校生および工業高等専門学校生（3年生以下）が化学の研究成果を競います。

平成22年度は、過去最高の49チームが参加し、1次審査を通過した10チームが最終選考会に臨み、口頭発表を行いました。本校の生物応用化学科からも「キッチン発電—捨てる前にエネルギー！—」と題して応募、一次審査を突破し、最終選考会にて大阪市長賞（3位相当）を受賞しました。



鈴木校長に結果報告後、記念撮影

➤ 第45回国領祭を開催

11月6日（土）、7日（日）の2日間、第45回国領祭を開催しました。今回のテーマは「夢現」。夢を現実になろうという思いが込められました。

国領祭期間中は、毎年恒例の「学科・専攻科展示」、「文化部展示」、「部活やクラスの出店」、「寮生会主催のチャリティーバザー」、「ライブハウス」、「野外ステージ」などに、学生をはじめ保護者や地域の方々にも多数お越し頂きました。国領祭に合わせて入試情報コーナーも設置され、訪れた中学生や保護者の方に本校の教員が入試に関する情報や学科の特色などを紹介しました。



野外ステージ（吹奏楽）



学科展示

➤ 留学生日本語スピーチコンテスト in 愛媛2010に本校留学生が参加

11月7日（日）、南海放送本町会館において、南海放送本町会館において愛媛県留学生等交流推進会議主催「留学生日本語スピーチコンテスト in 愛媛 2010」が開催されました。愛媛県内の高専、短大、大学等から7ヶ国30名の留学生が参加し、午前中の予選を通過した12名が午後からの本選に臨みました。本校からは、生物応用化学科3年ヌル シャミミさん（マレーシア）が出場し、予選では「100点満点満足できるか？」という題目でスピーチを行いました。本選に進んだヌル シャミミさんは、予選以上に力を込めてスピーチを行いました。が惜しくも入賞を逃しました。

出場した30名の留学生はいずれも流暢な日本語でスピーチを行い、観衆・審査員ともに賛辞を送りました。

➤ 四国地区高専総合文化祭開催

11月13日（土）・14日（日）の2日間、第32回四国地区高等専門学校総合文化祭が本校を主管校として新居浜市市民文化センター及び新居浜市文化振興会館で開催され、四国地区の5高専（6キャンパス）から約700名の学生が参加しました。

13日（土）、開会式に続いて全体交歓会が行われ、各



ミニロボットコンテスト



5高専合同演奏

高専による学校紹介や波方獅子連中による継獅子や本校奇術部のマジック等が披露され、総合文化祭は賑やかに幕を開けました。本校の学生も、吹奏楽やロボットコンテスト、写真、英語スピーチコンテストなど23種目に参加し、日頃の課外活動の成果を発表しました。

➤ 全国高専デザコン2010 in 八戸・構造デザイン部門で最優秀賞受賞

11月13日（土）・14日（日）の2日間、八戸高専を開催主管校として「全国高等専門学校デザインコンペティション（通称：デザコン）2010 in 八戸」が開催され、本校から構造デザイン部門に「BB（Beautiful Bridge）」と「上下どっちかわからん橋」の2作品が参加しました。

《競技結果》

最優秀賞（国土交通大臣賞）：BB（Beautiful Bridge）
4位：上下どっちかわからん橋

全国32高専52作品のエントリーがあった構造デザイン部門の今年のテーマは「どこでもブリッジ」。災害時や緊急時、橋を必要とする世界の地域において、簡単に持ち運び・組み立てができる仮設の橋を提案・



耐荷性能試験中のBB（Beautiful Bridge）

製作し、プレゼンテーション審査及び耐荷性能試験を通して耐荷力、デザイン性等を競いました。

耐荷性能試験では、用意された重りを数カ所の重り受けに載せていき、載荷後5秒以上経過してから次の載荷を行います。載荷作業にも時間制限があり、本校の学生は真剣な表情で作業を行っていました。

金子校区文化祭に本校ものづくり教育支援センターが参加

11月14日（日）に金子校区文化祭が行われ、本校ものづくり教育支援センターが参加しました。今回は、「かさ袋飛行機の工作教室」を中心に、「うちわで作れる風はどのくらい？」「うちわで50m走！」「雨粒ってどんな形？」など子どもたちが参加して学べるテーマを多く用意しました。午後には、飛行機が材料が不足して急遽補充するなど大盛況となりました。



➤ 定期学生大会

11月18日（木）、本校第一体育館において定期学生大会を行いました。

- | | |
|-----|---|
| 内 容 | ○ チャレンジプロジェクト報告
(1) キッチン発電—捨てる前にエネルギー！—
(2) コンポスト発電所の開発
(3) 生分解性ポリマーを活用した生ゴミ処理促進剤の開発
(4) 電気式計算機の製作
○ 学内ものづくりコンテスト表彰
○ 学生会予算中間報告
○ 学生会則変更について
○ 高専カンファレンス in 四国（1/22 開催予定）案内 |
|-----|---|

➤ 新居浜高専工業技術懇談会開催

11月19日（金）、一般市民のみなさま・地域の企業・本校学生及び教職員を対象に、第45回新居浜高専工業技術懇談会を開催しました。

- | | |
|-----|--|
| テーマ | 『産学官交流「環境・エネルギー～持続可能な社会に向けて～若手研究者の発表及び現状等について」』 |
| 内 容 | 1. 講演
演題 「シロアリ共生系が生み出すバイオ燃料：木質バイオマスを高効率で分解する因子の探索研究」
講師 独立行政法人理化学研究所守屋バイオマスフェア科学創成研究ユニット
特別研究員 木原久美子氏
2. パネルディスカッション |

講演では、実際に研究で飼育しているシロア리를観察したり簡単な工作を行ったりしながら木原先生にお話しいただきました。また、木原先生とともに愛テクフォーラム学生会員3名を交えてパネルディスカッションも行われました。

懇談会終了後のアンケートでは、「普段は人間の生活にとって有害である対象を逆に利用して、エネルギーを取りだそうとする所に、自身の考えに感じるものがあった」「ものの見方を一つ変えることで、新たな発見があると強く感じた」といった感想があり、多くの参加者にとって、興味・関心を持つと同時に、新たな発見がある充実した懇談会となりました。



木原先生の講演



シロアリの観察

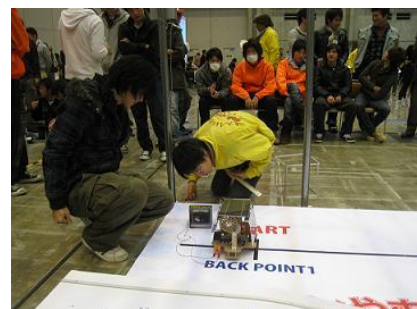
➤ 「ロボコンやまなし2010」

11月20日（土）、山梨県甲府市アイメッセ山梨にて「ロボコンやまなし2010」が行われ、本校からは電気情報工学科の学生が参加しました（ロボット名「POKARI」）。

このレースは、太陽電池のみをエネルギー源とするソーラーカーによるライトレース競技です。「POKARI」は、2kgの重りに対応するためモーターを大きくし、それに伴って必要なエネルギーを充電できるかが課題でしたが、設定が上手くいかず、決勝トーナメントに進めたものの5位に終わりました。しかし、技術力が評価され、「技術・アイデア賞」を受賞しました。



マシン(左) と盾(右)



➤ ソロプチミスト日本財団社会ボランティア賞（青少年の部）受賞

11月25日（木）、ソロプチミスト日本財団の年次大会が開始され、本校の学生により組織される新居浜高専科学研究会がソロプチミスト日本財団の社会ボランティア賞（青少年の部）を受賞しました。新居浜高専科学研究会代表の山内亜美さんが、2700人を前に賞状と目録を手渡され、受賞者を代表してお礼の挨拶を述べました。

当研究会は、理科離れを防ごうと科学実験などの出前授業を行うといった活動を通じ、子どもたちとふれあってきました。挨拶では、「授業に向けた準備は大変だったが、目を丸くして実験に取り組む子どもたちの姿や、楽しかったといった感想を聞いたときは、頑張ってた良かったと思う」と述べました。

同月26日には、本校校長室において、国際ソロプチミスト新居浜みなみから、お祝いの言葉と、副賞が手渡され、その後懇談を行い、学生も受賞の報告を行いました。



➤ 防災訓練

11月26日（金）、地震による火災発生を想定した防災訓練を行いました。本校では例年、空気が乾燥して火災が起こりやすくなるこの時期に防火訓練を行っています。本年度はこれまでの防火訓練に加え、地震を想定した訓練を行いました。

学内放送を合図に地震を想定した訓練を開始しました。引き続いて防火訓練を行い、学生や教職員は素早くグラウンドに避難しました。一次訓練終了後の消防署からの講評では、「日頃からの防災意識を高く持つことが大切」とのお話をいただきました。二次訓練では、「いざという時」に備えて実際に消火器を使っの消火を体験しました。消火器を初めて持った学生も多く、勢いよく噴き出る消火剤に手を焼いている様子でした。

いつ起こるかわからない災害に備え、有事の際には適切に行動出来るように、防災意識を高める良い機会になりました。



➤ 第54回日本学生科学賞（地方審査）で佳作に入賞

本校チャレンジプロジェクトの支援を受け、日頃問題になっている生ゴミの効果的な処理を目的として、生物応用化学科学生5名と環境材料工学科3名が連携して、新たな生ゴミ処理剤の製作に取り組んできました。

その成果を「生分解性ポリマーを活用した生ゴミ処理促進剤の開発」と題して読売新聞社主催の第54回日本学生科学賞に応募し、地方審査において、佳作に入賞しました。昨年度に引き続き、本科学者が取り組んだプロジェクトは日本学生科学賞に入賞となりました

➤ ジュニアドベンチャー選手権

12月3日（金）、今回で8回目を迎えたフロンティア企業クラブ主催「ジュニアドベンチャー選手権」が松山市・テクノプラザ愛媛にて開催され、環境材料工学科・高見静香助教がテーマ名「光で動かす技術ー光駆動分子結晶アクチュエーターの応用ー」で愛媛信用金庫賞を受賞しました。

当日は、書類審査通過のテーマ（愛媛大学6件、弓削商船



高専1件、本校1件)のプレゼンテーションが行われました。高見助教の発表は、世界で初めて光で有機分子結晶を駆動させ自重の約90倍の金粒子を動かすものであり(2007年4月12日号のNatureに掲載)、それを進展させる研究内容の提案でした。光で物体が動く驚異的な現象は、審査員の注目を集め、応用面に関する多くの質問が寄せられました。

➤ 新居浜市社会福祉大会で優秀賞(高校の部)受賞

12月4日(土)、新居浜市市民文化センター中ホールにて第29回新居浜市社会福祉大会が開催され、本校環境材料工学科2年川上千尋さんが優秀賞(高校の部1位)に選ばれました。

この大会は、社会福祉に尽力した方々を表彰するものです。川上さんは、夏休みに福祉施設に2泊3日で泊まり込み介護体験をするワークキャンプに参加し、その時の体験をもとに書いた作文が表彰されました。

大会では、新居浜市長など列席の壇上にて作文を披露し、その後表彰状を受け取りました。



➤ 留学生ウィーク開催

12月13日(月)～17日(金)の5日間、本校にて留学生ウィークを開催しました。

母国紹介ポスター展示では、本校留学生の母国4カ国(マレーシア、モンゴル、インドネシア、ベトナム)の伝統文化や習慣、産業観光等が写真入りでわかりやすく紹介されました。

最終日には、ベトナム出身の電気情報工学科3年グエンフー チン君による母国紹介講演が行われ、学生や教職員をはじめ国際交流に関心のある地域の方などが講演会に参加しました。講演でチン君は、パワーポイントや映像を使ってベトナムの文化や生活の様子を紹介しました。

留学生の母国を身近に感じられた5日間となりました。



◇◆寮務委員会から◆◇

◎ チャリティーバザー(国領祭)

11月6日(土)・7日(日)の2日間に開催された国領祭において、寮生会主催のチャリティーバザーを行い、オープンと同時に多くのご来場をいただきました。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。利益はすべて、『10月20日の奄美地方大雨災害義援金』(日本赤十字社鹿児島県支部)に寄付いたしました。





新居浜高専は
平成24年4月に創立50周年を迎えます



新居浜工業高等専門学校

Niihama National College of Technology

～知恵 行動力 信頼～

〒792-8580 愛媛県新居浜市八雲町 7-1

TEL 0897/37-7700 FAX 0897/37-7842